

察された事實が増加し、個々の問題に關する部分的の説明が爲されたと言ふ點に在るのである。一般的に言へば、精神状態の叙述、分類と言ふ方面に重きを置くよりは、精神活動や動作の因果的力學的説明により多く、力を入れる様になつて來たと言へるであらう。而して大體に於て、變化は徐々として起り、革命的發見は無かつた。

附記。同じ雜誌に載せられて居る Washburn 氏の

論文、'The last quartercentury in Psychology'、此の方面について更らに詳しく研究を爲さんとするものにとつて Discussion を與へる事と思ふ。

## 彙報

### 哲學倫理學會

二月十八日午後六時より學生集會所に於て例會を開き、左の講演あり。

○實踐的感情移入説に就て 文學士 尾生光三郎君

桑報

### 心理學讀書會

二月二十日午後三時より實驗室にて開催。

○青年の宗教心に關する研究 文學士 藤澤 乙 夫君

B. Erdmann; Hypothesen über Leib und Seele

文學士 須藤 新 吉君

藤澤君は先づ、現代青年の宗教的教養の極めて乏しい所以を説き、かくの如き青年に向つて所謂「發問法」を適用しても、その得たる結果は、價値少しとなし、神や佛と云ふ様な言葉を用ゐず、に他の方法に依つて、何等かの形に於て彼等が有すべき宗教心を發見する道は無いかを考へた結果、六種の問題(一、最、恐ろしいものは何ですか、二、最、心配なのは何ですか、三、最、苦ししいものは何ですか、四、最、欲しいものは何ですか、五、最、大切なものは何ですか、六、どんな人になりたいですか)を案出し、男、八十七名、女百二十四名、に就て其の答案を求めた。と述べ、其の結果を整理して表示し、夫等の中に著しく表はれてゐる點を指摘し、以て彼等青年の有する宗教心が如何なるものであるかを簡単に説明された。

次に須藤君は頭書の書物の大要を簡明に紹介せられた。

### 教育學會

二月十八日午後六時より學生集會所に於て例會を開き、左の講演あり。

秀才教育に就て 京都府立師範學校附屬主事

松田精四郎君

一一九